

# 東北地方 1か月予報

(11月11日から12月10日までの天候見通し)

平成18年11月10日  
仙台管区気象台発表

## <予想される向こう1か月の天候>

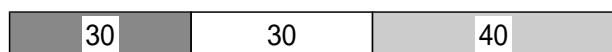
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北日本海側では、期間の前半は平年に比べて曇りや雨または雪の日が多く、後半は、平年に比べて晴れの日が多いでしょう。東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

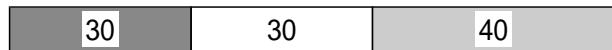
週別の気温は、1週目は東北地方で平年並の確率が50%、3~4週目は東北地方で平年並または高い確率ともに40%です。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

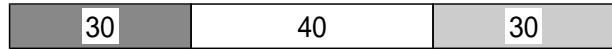
[気温] 東北地方



[降水量] 東北地方



[日照時間] 東北地方



低い(少ない)

平年並

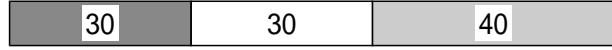
高い(多い)

## <気温経過の各階級の確率(%)>

[1週目] 東北地方



[2週目] 東北地方



[3~4週目] 東北地方



低い

平年並

高い

## <予報の対象期間>

1か月 : 11月11日(土)~12月10日(日)

1週目 : 11月11日(土)~11月17日(金)

2週目 : 11月18日(土)~11月24日(金)

3~4週目 : 11月25日(土)~12月8日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は11月17日

3か月予報:11月22日(水) 14時

## <参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温( )	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温( )		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	4.6	138.4	71.5	6.7	5.4	3.4
深浦	5.6	151.8	51.8	7.7	6.4	4.5
むつ	4.4	114.3	87.8	6.5	5.2	3.3
八戸	4.8	53.4	127.9	6.9	5.6	3.7
秋田	5.8	191.2	64.9	7.9	6.6	4.8
盛岡	3.9	87.2	105.8	5.9	4.6	2.8
大船渡	6.5	82.1	134.3	8.5	7.2	5.5
宮古	6.1	70.8	144.2	8.1	6.8	5.0
仙台	7.4	50.7	137.1	9.4	8.1	6.3
石巻	6.5	50.1	145.6	8.6	7.2	5.4
山形	5.4	79.3	89.1	7.5	6.1	4.4
新庄	4.5	203.7	48.7	6.5	5.3	3.5
酒田	7.3	235.9	60.8	9.2	8.0	6.2
福島	7.2	52.2	126.2	9.3	7.9	6.1
若松	5.1	78.5	78.3	7.4	5.9	3.9
白河	5.8	53.0	148.9	7.9	6.5	4.7
小名浜	9.0	74.1	166.0	11.1	9.8	7.9

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.7 ~ +0.8	81 ~ 106	96 ~ 105
東北日本海側	-0.7 ~ +0.7	88 ~ 107	94 ~ 106
東北太平洋側	-0.7 ~ +0.8	66 ~ 105	95 ~ 106

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6 ~ +0.7	-0.6 ~ +0.6	-0.6 ~ +0.6
東北日本海側	-0.6 ~ +0.7	-0.6 ~ +0.6	-0.6 ~ +0.6
東北太平洋側	-0.6 ~ +0.7	-0.6 ~ +0.6	-0.5 ~ +0.6

## <参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1よりも多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成18年11月10日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

### 向こう1か月(11月11日~12月10日):

東北日本海側では期間の前半は気圧の谷や寒気の影響で平年に比べて曇りや雨又は雪の日が多く、後半は天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は東北地方で各階級の確率の偏りは小さい。

### 1週目(11月11日~11月17日):

気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多く、北部を中心に雪の降る所があるでしょう。東北太平洋側では晴れる所もある見込みです。なお、12日頃は荒れた天気になる見込みです。

平均気温は東北地方で平年並の確率が50%です。

### 2週目(11月18日~11月24日):

低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変化するでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨又は雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は東北地方で各階級の確率の偏りは小さい。

### 3~4週目(11月25日~12月8日):

低気圧と高気圧が交互に通過し、低気圧の通過後は一時的に冬型の気圧配置となります。長続きしない見込みです。東北日本海側では平年に比べて晴れの日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

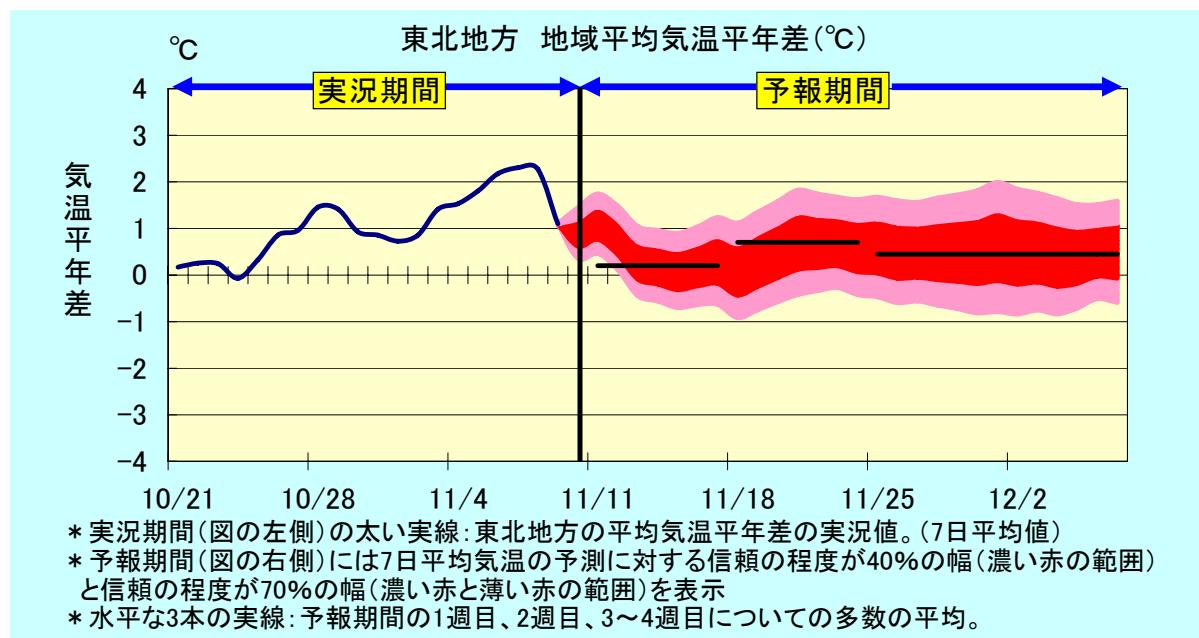
平均気温は東北地方で平年並または高い確率がともに40%です。

## 平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	6.4日	2.0日	1.8日	2.6日
東北太平洋側	16.4日	4.0日	4.1日	8.3日

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、平年並から平年を上回ると予測しています。なお、数値予報の信頼度は小さい。

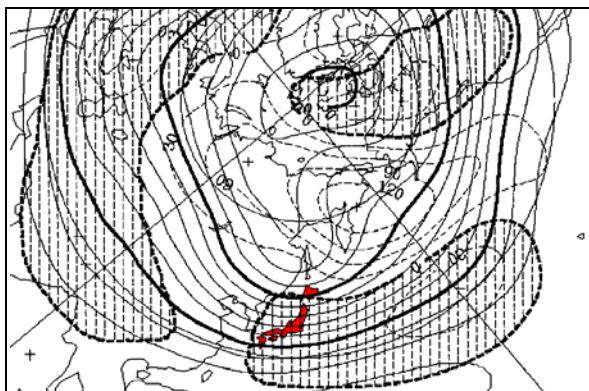


### 3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

**1か月平均**：日本の北や大陸で正偏差。日本列島付近から東は負偏差。日本付近の等高度線は東西に走り、偏西風の流れは南北の蛇行が小さく、低気圧と高気圧が交互に通過し天気は周期的に変化する見込み。冬型の気圧配置となる日もあるが、持続的に強い寒気が南下する可能性は小さい。

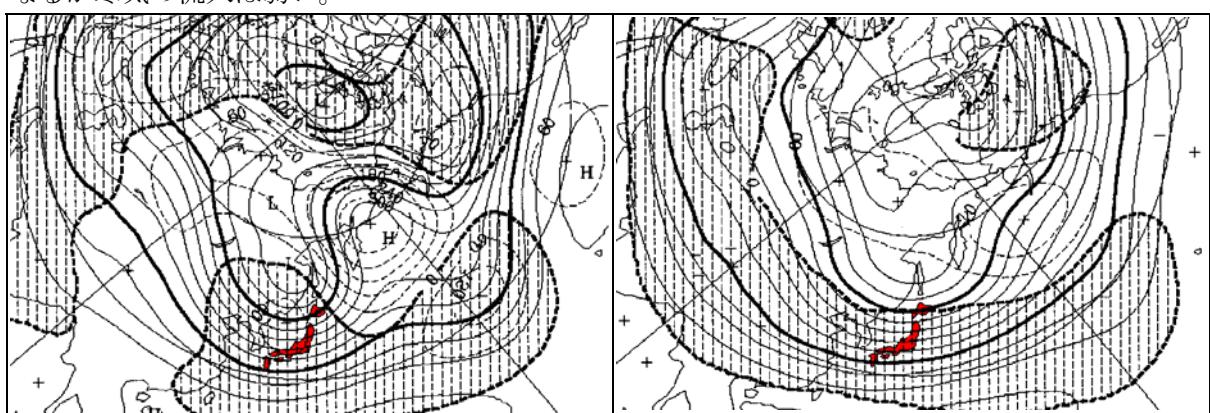
**1週目**：中国大陸の東から日本付近は負偏差域がかかり、気圧の谷となっている。このため東北地方は気圧の谷や寒気の影響を受けることがある。

**2週目**：日本を含む中緯度は東西に広がる負偏差。一方、高緯度は正偏差。日本付近は下層(予想図は省略)で正偏差が予想される。天気は周期的に変化し、低気圧の通過後は冬型の気圧配置となるが寒気の流入は弱い。



1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1, 2週目と同じ  
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500 hPa 予想天気図

2週目平均 500 hPa 予想天気図

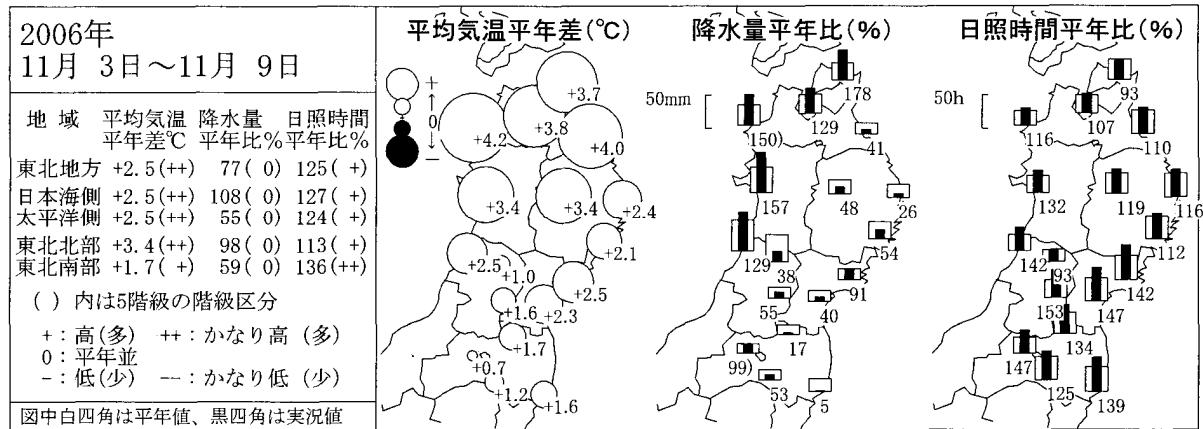
実線は、等高度線 (間隔 60m)、点線は、平年差 (間隔 60m)

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

### 4. 最近1週間 (11月3日～11月9日) の天候の経過

この期間、移動性高気圧に覆われる日が多く晴れの日が多かった。大きな天気の崩れは7日で、北海道の北に進んだ日本海低気圧に伴う寒冷前線が通過したため、東北日本海側の所々でまとまった雨となった。寒冷前線の通過後は各地で強風となり、列車の運休や倒木による停電などの被害が発生した。8日には上層の気圧の谷の通過に伴って寒気が流入し高い山では雪となり、東北南部の山岳でも初冠雪が観測された。また9日には山形で初霜を観測した。

平均気温は東北北部でかなり高く、東北南部で高い。降水量は東北地方で平年並。日照時間は東北北部で多く、東北南部でかなり多い。



## 5. 寒候期 季節現象(初日)

2006/2007年寒候期 季節現象(初日)									
官署名	初 霜			初 氷			初 雪		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
青森		10.23	10.27		10.29	11.16		11.7	11.8
八戸	11.2	10.27	11.16		11.2	11.16		11.11	11.15
秋田		11.6	11.21		11.13	11.21		11.12	11.15
盛岡	10.22	10.18	10.26	11.2	10.24	11.1		11.8	11.15
宮古		10.31	11.10		11.5	11.10		11.16	11.30
仙台		11.06	11.20		11.16	12.3		11.22	12.3
山形	11.9	10.24	11.1		10.29	11.1		11.16	11.19
酒田		11.12	12.6		11.20	12.6		11.17	11.30
福島		11.6	11.17		11.11	11.17		11.24	12.3
若松		10.28	11.1		11.6	11.1		11.17	11.16
小名浜		11.11	11.18		11.19	11.21		12.13	12.15

初冠雪									
山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年	山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年
ハッコウダサン 八甲田山	1584	11.8	10.16	11.8	ガンドサン 雁戸山	1485	11.8	10.28	11.10
イワキサン 岩木山	1625	11.8	10.15	11.9	リュウザン 滝山	1362	11.8	10.30	11.10
ハシガミダケ 階上岳	740		11.12	11.19	イズミガダケ 泉ヶ岳	1175	11.8	11.6	11.9
タペイサン 太平山	1170		10.31	11.9	ザオウザン 蔵王山	1841	11.8	10.23	10.24
イワテサン 岩手山	2038	10.9	10.13	10.24	アツマヤマ 吾妻山	1949	11.8	10.21	10.23
チヨウカイサン 鳥海山	2236	10.9	10.9	10.25	イイデサン 飯豊山	2105	11.8	10.17	10.24
ガッサン 月山	1984	11.8	10.15	10.26	ハンドイサン 磐梯山	1819	11.8	10.24	11.9
アサヒダケ 朝日岳	1870	11.8	10.19	11.10					

注：蔵王山は熊野岳、吾妻山は一切経山の標高を示す。

\* 大船渡測候所が平成18年10月1日に特別地域気象観測所へ移行をしたことに伴い、大船渡における寒候期季節現象および五葉山の初冠雪の観測は終了しました。